

当世の社会、政治、風俗に敏感に呼応し、時に流行を発信した江戸のメディアアーツ浮世絵。とりわけ美人画、役者絵、風景画など各分野で頂点を極めた5人の絵師、**歌麿**、**写楽**、**北斎**、**広重**、**国芳**の代表作を中心に約140点を紹介します。

みどころ：絵解きパネルで楽しく鑑賞

作品にまつわる物語や江戸の暮らしについてより深く楽しく知っていただけるような工夫を凝らしています。

江戸のインフルエンサー!?

右上に描かれた
白粉^{おしろい}。出版業界にも関わっていた白粉販売元・坂本氏の働き
かけで、浮世絵や草双紙^{くそうし}（江戸で出版された絵入りの娯楽本）に、
たびたび広告として登場したといわれている。

仙女香^{せんじょかう}



コマ絵
写し絵

ガラス板に描いた絵を蠟燭
の光で障子などに投影し
て楽しむ、江戸時代の
娯楽の一種。

画壇に登場したばかりの広重は、当時の浮世絵の主流であった
美人画を数多く手がけていた。描かれた女性の姿にはどこか
初々しいぎこちなさも感じられる。

極彩色今様うつしゑ
美人仙女香^{びじんせんじょかう}

©Sapporo Art Museum

五 大 浮 世 絵 師 展

五大浮世絵師展

歌麿に写楽、
北斎と広重、
そして国芳

2026
10.10 土
2027
1.11 月 祝

◎9:45~17:00 入館は16:30まで

月曜休館 ※ただし祝日は開館し、翌火曜は休館
※11月2日(月)は開館
12月28日(月)~1月4日(月)休館

Admission fee 観覧料

一般	1,700円 (1,500円)
高校・大学生	1,100円 (900円)
小・中学生	700円 (500円)

*() 内は前売りまたは20名以上の団体料金 *未就学児無料
(要保護者同伴) *65歳以上の方は当日料金1,600円(団体1,400円)
になります。年齢の分かるものをご提示ください。*障害者手帳
をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添
いの方1名が無料になります。

